



## ■共同獣医学部学術セミナー

演 題: HIVの挙動を知る—個体レベルから蛋白質レベルまで—

講 師: 三宅 在子 先生

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部  
医療創生科学部門 微生物学講座助教)

開催日時: 2月13日(木) 16:00-17:00

場 所: 連合獣医学研究棟4階大講義室

講演要旨: エイズの原因ウイルスであるヒト免疫不全ウイルス(HIV)は、CD4陽性リンパ球およびマクロファージに感染し、長い潜伏期ののち最終的に免疫不全を引き起こすレトロウイルスである。抗HIV薬の多剤併用療法によりHIV感染症に対する治療成績は格段に改善した。しかし、その根治療法はいまだ確立されておらず、そのためにはHIVについてより正確に詳細に知ることが必要である。今回、HIVの挙動を知るために行ってきた個体レベルから蛋白質レベルまでの研究の中より(1)SHIV/サル感染モデル系による個体内でのウイルス動態および進化の解析、(2)HIV潜伏感染におけるエピジェネティック制御機構の解析、(3)HIVの病原性に関わるウイルス蛋白質の分子遺伝学的・機能学的解析、についてその成果を紹介させていただく。

問合せ先: 前田 健(内線5887)